

Biz-Collections モバイル端末シリーズ

「 Biz/Browser Mobile V3

Biz/Designer Mobile

Biz/Browser Mobile for Windows」

【概論】

アクシスソフト株式会社は、Windows Mobile 及び Windows CE 搭載のスマートフォンやハンディターミナル上で動作する業務アプリケーションの開発生産性と動作時の操作性 / 業務効率を飛躍的に高める Biz/Browser 及び Biz/Designer のモバイル端末シリーズ 3 製品を発表します。

Windows Vista や XP 等の OS を搭載した PC デスクトップ機分野で 10 年近い実績を誇るリッチクライアント Biz/Browser 及びその開発ツール Biz/Designer で得た経験と技術を、モバイル端末機向けに注ぎ込んだ製品群がこのモバイル端末シリーズです。

【モバイル端末アプリケーション開発における問題点】

従来のモバイル端末機向けアプリケーション開発は、プラットフォームである OS に統一性がないことなど含めて、実行環境、開発環境が PC のデスクトップ機と比べて進んでいないこともあり、主に C 言語で開発されていました。C 言語は汎用言語であり自由なコーディングによりどんなこともできる反面、開発者のスキルに大きく依存するため、誰もが良いアプリケーションを開発できる訳ではありません。また、モバイル端末での限られたリソースの中でレスポンスの高いアプリケーションを開発するためには、メモリ管理などリソースも意識したプロフェッショナルなコーディング技術を必要とします。そのため、PC デスクトップ機でのアプリケーション開発者と異なり「組み込み系」に知識がある開発者が重用されていました。モバイル端末でのアプリケーション開発はコアなスキルが必要で、生産性が非常に低いのです。

しかし、モバイル端末分野においても Windows Mobile の広がりなどで、開発環境も変化してきていること、また通信環境も改善されてきたことから、Web を利用したシステム構築が加速しています。そういった時代の潮流に合わせ、PC デスクトップ機と同様「リッチクライアント技術」が今求められています。

【モバイル端末での通信環境】

アプリケーションの Web 化は PC デスクトップ環境では潮流ですが、今までモバイル端末の Web 化が進まなかった理由の一つにネットワーク事情があります。特に業務系ハンディターミナルの代表的な利用シーンである物流や倉庫での運用を想定しても、常にネットワーク瞬断を考慮した仕組みが求められます。また、営業担当者の携帯端末などで今後益々利用が促進されるであろうスマートフォンについても、ハンディターミナルとは違って利用環境を特定できませんから、地下や電車の中など電波が届かない場面を前提とした機能

が必要となります。「オフラインモード」と呼ばれるものです。

【アクシスソフトが提供する解決策】

弊社は PC デスクトップ機分野で「企業の業務生産性向上」のため、「Web システムでの保守性向上」と「利用者の生産性向上」双方を享受できる製品「リッチクライアント Biz/Browser」及び「開発ツール Biz/Designer」を提供し、発売以来大手企業含めて 550 社、40 万クライアントで利用され信頼を得ています。

アクシスソフトが提供するモバイル端末シリーズは、モバイル端末の利用者と開発者それぞれの従来の問題を一挙に解決する製品群です。C 言語と比べれば開発の生産性は約 10 倍（当社比較値）となります。

【Biz/Browser Mobile V3】

Biz/Browser Mobile V3 は、モバイル端末用の従来製品である Biz/Browser for PDA、Biz/Browser Mobile V2 の機能を飛躍的に向上させたものです。10 年の歴史がある PC デスクトップ版リッチクライアントの最新バージョン Biz/Browser XE の豊富な機能から多くの機能を移植するとともに、これまでのモバイル端末ビジネスで得たノウハウや顧客 / 開発会社からの要望なども取り入れた究極のモバイル端末版リッチクライアントです。

モバイル端末で有用な新機能が満載ですが、幾つか代表的な例を挙げます。

モバイル端末は PC デスクトップ機と比べ CPU やメモリのスペックが低く抑えられている、表示画面が小さい、キーの入力操作が不便といった違いがあります。アプリケーション開発者はそのために UI（ユーザインタフェース）に頭を悩ませます。多くのデータを表示する場合、一般にはグリッドと呼ばれる表形式の表示方法（Excel などの表示が代表）を利用しますが、モバイル端末の場合リソースを考慮しながら表示をどのように利用者に見せるかの設計が必要となります。大量のデータを保持しスクロールする方法だけでは必要なデータ検索に時間を要してしまいます。そこで新機能として取り入れたのが FlexView です。

PC デスクトップ版にすでに搭載されている FlexView はリソース利用を最小限に抑えています。そのため、大量データであってもリソースの問題に対する特別な考慮を必要とせず、開発者に負担がありません。また、行を畳み込める機能があり、例えば「関東」「関西」といったグループ分けをしておき、「関東」分のデータを畳み込むような表現が可能です。これにより小さな画面を有効に利用することができます。

次に紹介する機能は、PC デスクトップ版搭載済みの「DateEdit」「NumberEdit」「MaskEdit」です。「DateEdit」は日付専用の入力コントロールでカレンダー表示機能を標準で搭載しており、不正な日付が入力されることがありません。日付の表現方法も簡単にプロパティで設定出来ます。「NumberEdit」は数値専用の入力コントロールで電卓表示機

能を標準搭載しており、同じく簡単なプロパティ設定で先頭に通貨記号を表示したり、小数点表示をしたりなど数字に関する表示を制御します。「MaskEdit」は「〒 _____ - _____」といった入力方法を実現できるコントロールです。「〒」「-」はマスク文字であり、上書きができません。入力可能な部分は数字のみ、英字のみなどの制御が可能で、保険番号や会員番号など様々なマスクパターンに対して、楽にミスのない入力を行えます。

Biz/Browser Mobile V3 は、その他の新機能も PC デスクトップ版 Biz/Browser XE 搭載機能をモバイル用にアレンジし充実させています。

【Biz/Designer Mobile】

Biz/Designer Mobile は、モバイル端末の開発環境に革命をもたらす画期的な開発ツールです。10 年近くにわたり PC デスクトップ機のリッチクライアントとして信頼を勝ち得てきた Biz/Browser のアプリケーション開発環境である Biz/Designer をモバイル端末向け専用開発ツールとしてリメイクしたもので、Biz/Designer が装備しているデバッグ機能などを全て利用可能です。従来、C 言語とクラスライブラリや API を駆使して開発しなければいけなかったアプリケーション開発を、モバイル端末の開発経験がない開発者でも PC デスクトップ機のアプリケーション開発と同じように開発することができます。従来の C 言語利用での開発時の問題が解決され、開発者が本来のアプリケーション機能に力を注ぐことが可能となりました。

【Biz/Browser Mobile for Windows】

Biz/Browser Mobile for Windows は、各種の端末機に合わせて Biz/Browser Mobile を PC デスクトップ上（開発端末）でエミュレートする専用 Biz/Browser で、これによりほとんどの開発を PC デスクトップ上で進めることができます。モバイル端末機の情報「端末プロファイル」を追加することで、ターゲットとなる画面サイズや画面の縦横切替の有無などの端末個体差を認識して動作しますので、様々な機種を想定しての開発が可能です。Biz/Designer Mobile との組み合わせにおいて完全な統合開発環境を提供します。

【総括】

Biz/Browser は「企業の業務生産性を高めるために開発された製品」ですが、モバイル端末機においてもコンセプトは同様です。

アクシスソフトが提供している一連の製品群の総称「Biz-Collections」は、Biz/Browser XE、Biz/Browser Mobile、Biz/Designer XE、Biz/Designer Mobile などのクライアントサイドを形成する製品に加えて、Biz/PrintServer、PrintStreamCore といったサーバサイドの帳票生成ツールも含まれており、Web 環境におけるレスポンス、操作性、印刷の問題を解決しています。モバイル端末環境が変化してゆくなか、Web 化は進みます。弊社製品を利用することで不安定なネットワーク環境であってもそれを考慮した機能を構築することができます。また、リソースの意識などのコアなコーディングスキルを必要とせず開発するこ

とが可能となり、開発者の負担は大きく軽減されスキルのばらつきがなくなります。

ガートナー・ジャパンによると日本の PDA 市場の 2006 年度出荷台数は 52 万 6 千台（前年比 115.2%）。マイクロソフト社では 2007 年の Windows Mobile 搭載目標は 100 万台（うち 50 万台がスマートフォン）です。また、ROA (Research On Asia group) によると 2010 年にスマートフォン市場は 600 万台となり全携帯市場の 13%を占めるという数字もあります。

弊社は業務でのモバイル端末機搭載リッチクライアントのシェア 50%を狙います。また、スマートフォンでの業務市場を創出しワークスタイルの革新を起こしたいと考えています。



【小売業における売上、在庫管理アプリケーション画面例：最新端末スマートフォン「Advanced[es]」】



IBM「Lotus Notes」と Biz/Browser Mobile の連携画面

リッチクライアント・・・HTML クライアントの弱点を克服する Web クライアント。Web を利用することでアプリケーション保守はサーバサイドで完結し保守性が向上する。また、クライアント端末の管理コストは大きく削減できる。しかし、HTML クライアントによる業務アプリケーション利用は、ファンクションキーが利用できないなど機能が乏しく、画面表示も遅い。そこで、Web の利点と従来のクライアント/サーバシステムのようなリッチな UI (ユーザインタフェース) の双方を実現するものとして登場した。弊社「Biz/Browser」はリッチクライアントの先駆的製品。